



まちだの新たな
学校づくり

Machida New Concept School 2040

薬師・金井地区統合新設中学校 意見交換会

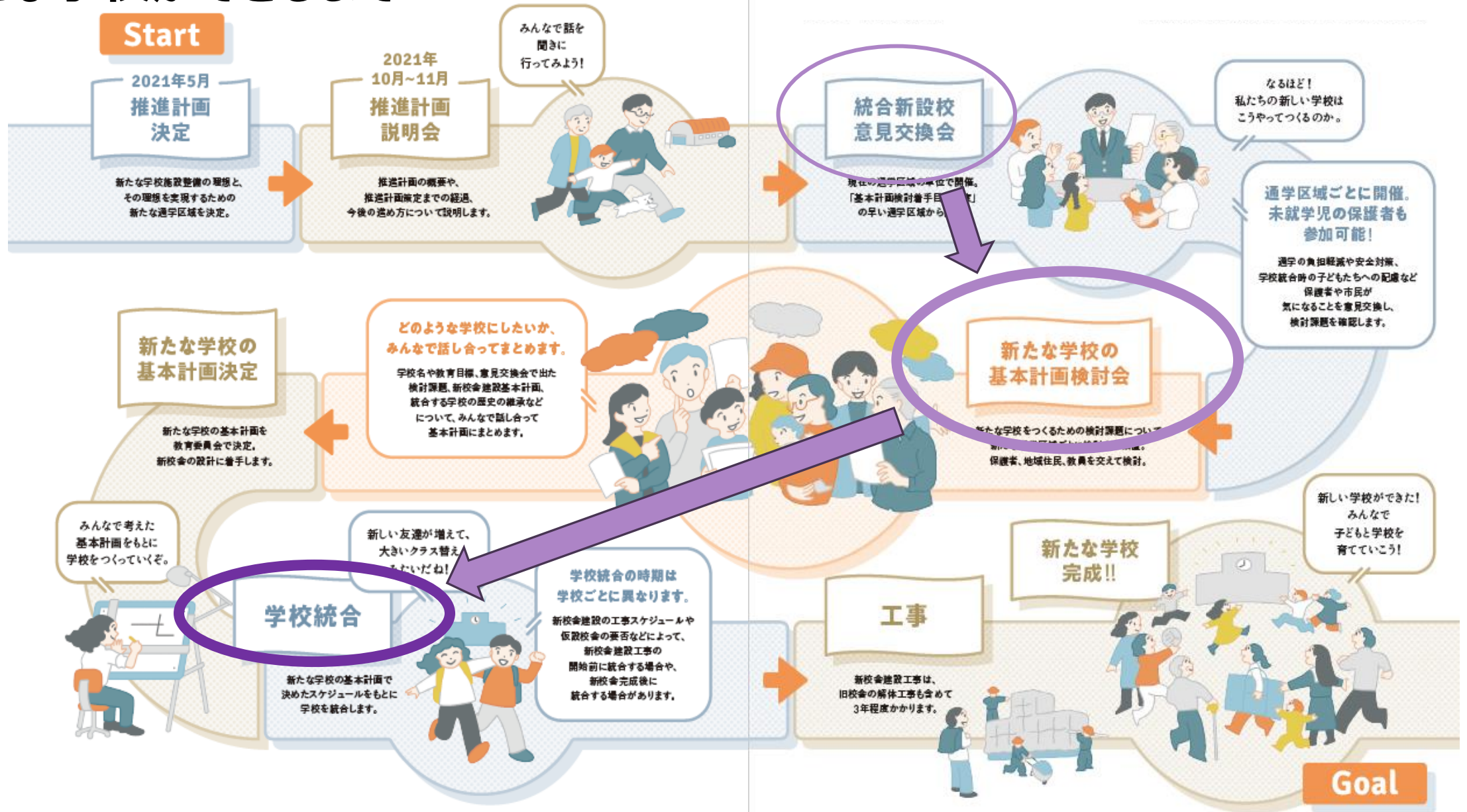
2024年2月15日(木)・17日(土)・18日(日)・20日(火)
学校教育部新たな学校づくり推進課

次第

- 1 挨拶
- 2 新たな学校づくり推進計画について
- 3 薬師・金井地区における統合新設中学校について
- 4 事前にいただいたご質問について
- 5 質疑応答

1 挨拶

新たな学校ができるまで



2 新たな学校づくり推進計画について

2-1. 計画の背景

2-2. 新たな学校づくり推進計画の内容

2-3. 計画のポイント

2-1. 計画の背景

1 児童・生徒数の減少

→2040年度の児童・生徒数は、2020年度と比較して約30%減少すると推計

2 学校施設の老朽化

→鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数60年を迎える学校が市内62校中55校

3 教育環境の変化

→ICT教育の推進など教育環境の変化に学校施設が十分対応できていない

2-2. 新たな学校づくり推進計画の内容

- 将来の変化を予測することが困難な時代への対応
- 環境変化や学校教育にかかる諸制度の改正への対応
- 町田に生まれ育つ未来の子どもたちが夢や志をもち、未来を切り拓くために必要な資質・能力を育む

より良い
教育環境を
整備する

2021年5月
策定



2-3. 計画のポイント

- 1 適正規模の基本的な考え方
- 2 適正配置の基本的な考え方

2-3. 計画のポイント

1 適正規模の基本的な考え方

- 小学校 1学年あたり3学級から4学級（1校あたり18学級から24学級）
- 中学校 1学年あたり4学級から6学級（1校あたり12学級から18学級）

審議会では、アンケート結果を尊重し、小学校は3学級・中学校は4学級を望ましい学級数としました。

適正規模を一定期間維持することも重要と考えることから、望ましい学級数に幅をもたせるため、小学校は3学級～4学級・中学校は4学級～6学級としました。

※町田市では、中学1年生は35人学級・中学2年生3年生は40人学級で学級を編成しています。

2-3. 計画のポイント

2 適正配置の基本的な考え方

5つの項目を総合的に検討し、新たな通学区域と学校候補地を定めた。

① 通学時間及び通学距離

➤「通学時間」は片道の通学時間の許容範囲として30分程度

➤「通学距離」は徒歩で2 k m程度

② 安全な通学環境

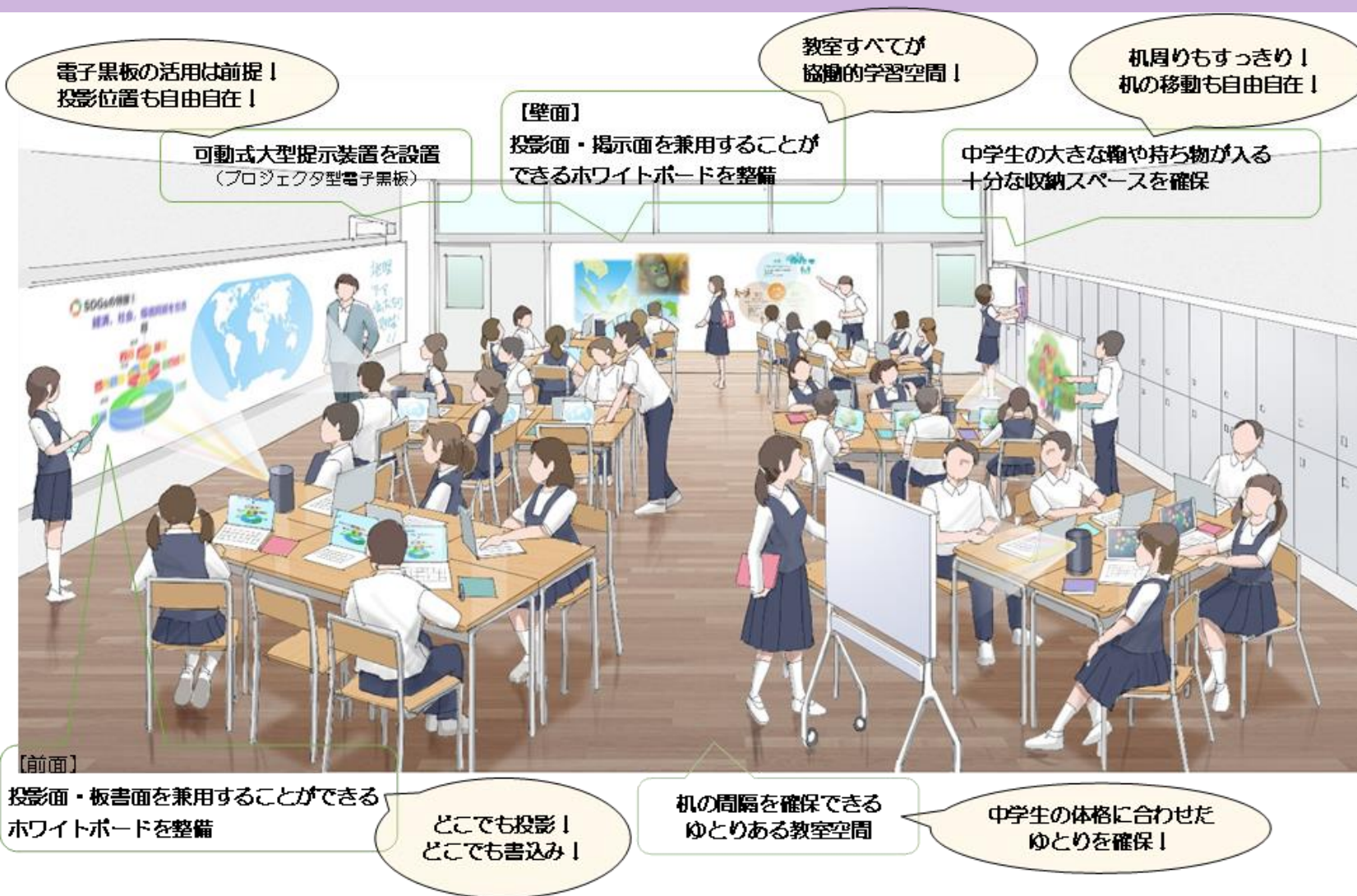
③ 地域社会との関係

④ 小・中学校区の整合

⑤ 通学区域内における学校の位置

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

普通教室



望ましい
学級数の実現

学校施設環境の
整備

未来を見据えた
教育環境の整備

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

ラーニングセンター

望ましい
学級数の実現

学校施設環境の
整備

未来を見据えた
教育環境の整備

大型提示装置で壁面全体に動画
や画像などの投影が可能

閲覧スペースが同
時に使用できるよ
う間仕切りと遮音
に配慮



可動式の机や椅子
を使用し、より多様
な学習活動の展開
が可能

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

コミュニティールーム・開放スペース

地域拠点となる学校づくりの実現

学校を支えるチーム体制の構築

学校運営協議会や学校支援ボランティアなどの会議開催や備品の保管等が可能



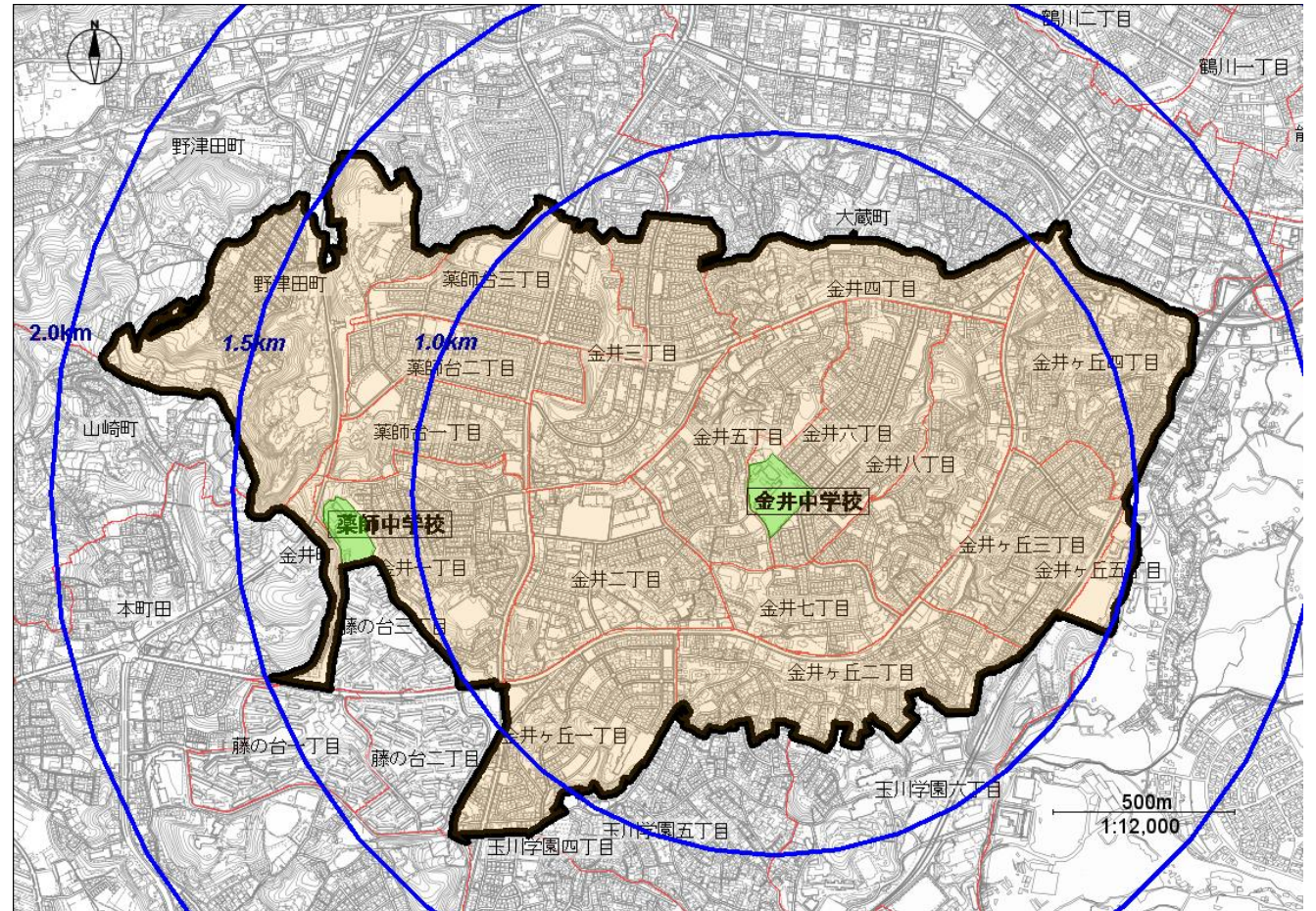
地域の方も使える交流の場として利用可能



3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

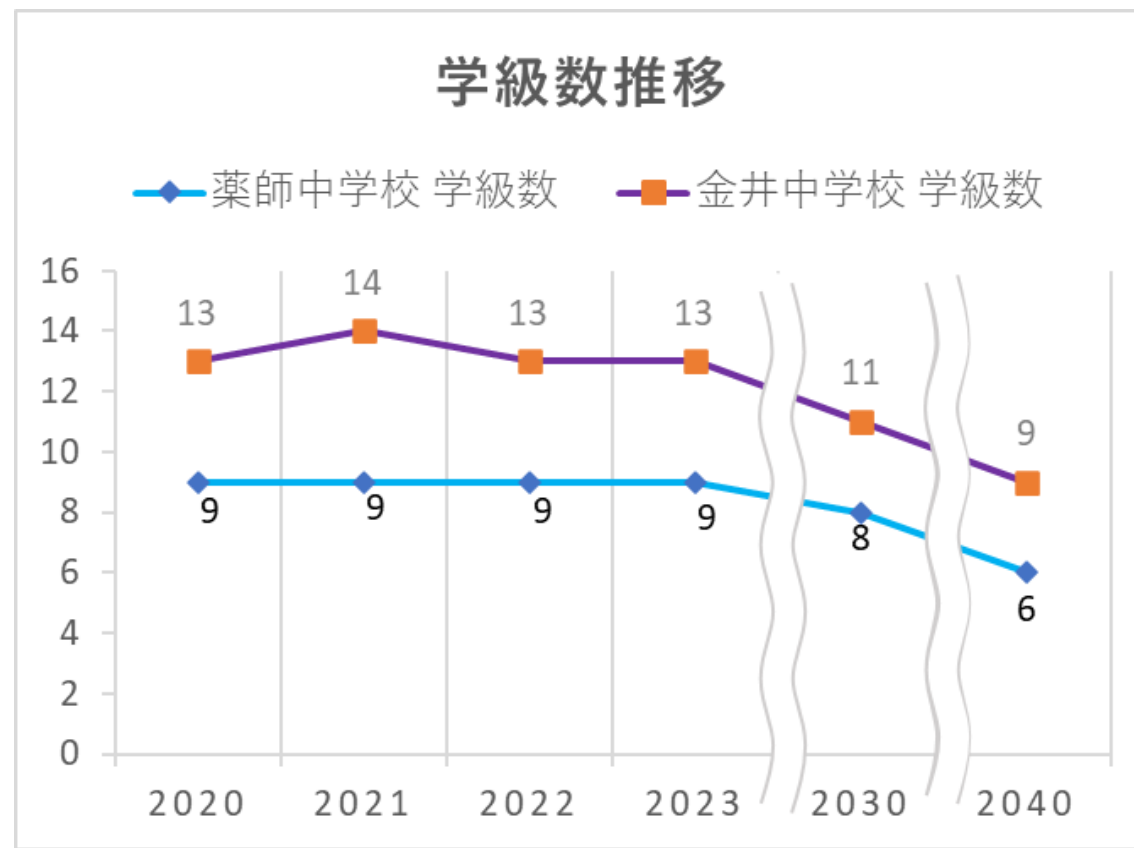
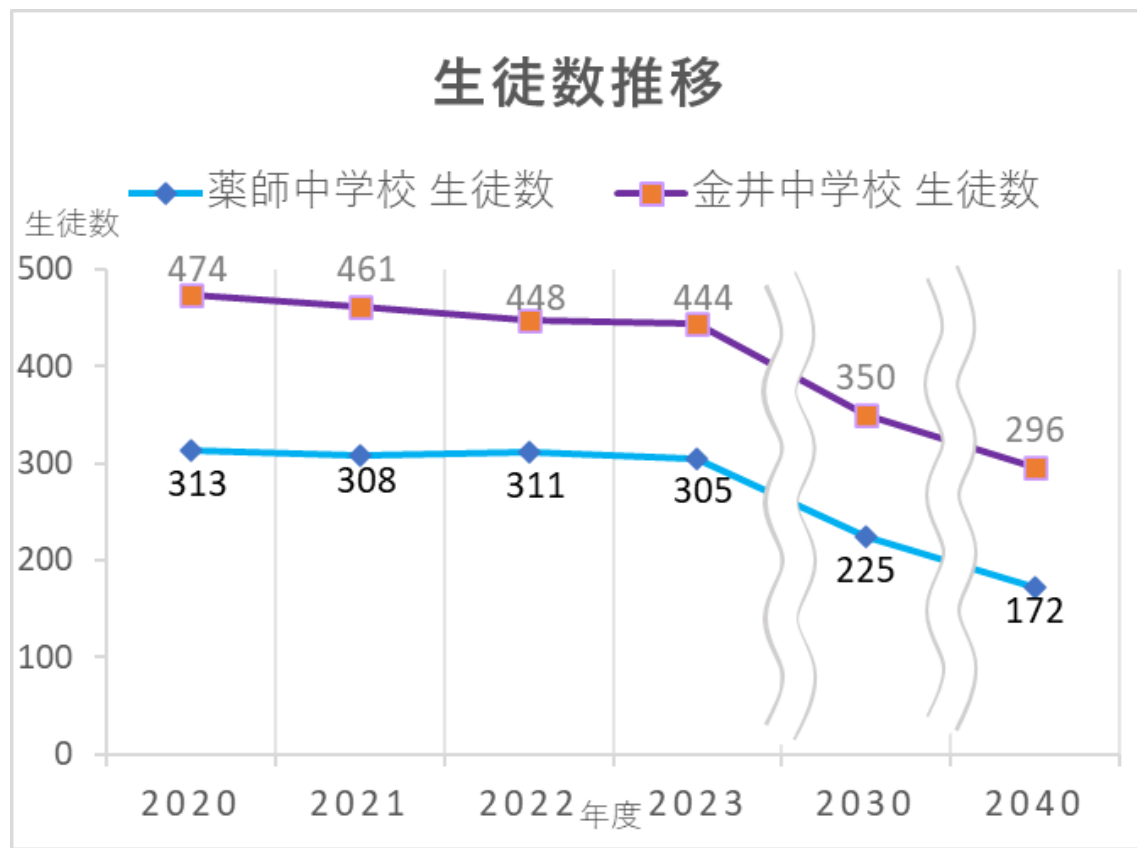
(1) 学校の候補地について

学校名(候補地名)	①	薬師中学校	金井中学校		
学校候補地	②		○		
統合後学級数	2020年度	③	19学級		
	2030年度	④	13学級		
	2040年度	⑤	12学級		
	統合可能年度	⑥	2021年度		
	⑥の生徒数・学級数	⑦	615人(18学級)		
評価項目	優先順位	⑧	2位	1位	
	児童・生徒の通学のしやすさ	候補地から直線距離で2km(徒歩で約30分)超の場所に居住する生徒	⑨	12.1%	0.0%
		2kmを超える生徒への配慮	⑩	74人	0人
		候補地から直線距離で1km(徒歩で約15分)以内の場所に居住する生徒	⑫	39.6%	82.1%
		1km~2kmの生徒への配慮	⑬	243人	503人
優先順位	⑮	1位	1位		
評価項目	面積	⑯	15,533	19,943	
	建築制限	⑰	第一種中高層住居	第一種低層住居	
	ゆとりある学校施設環境の整備	容積率	⑱	100%	80%
		施設の配置	⑲	整形	整形
		土地の形状	⑲	整形	整形
		土地の高低差	⑳	無	無
	日影の影響	㉑	中	中	
	都市計画道路	㉒	該当なし	該当なし	
	評価項目	2000年度	㉓	該当なし	該当なし
	老朽化の状況	以降建築			



3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

(2) 生徒数・学級数（通常の学級）



※2030年度・2040年度の数字は「第5回まちだの新たな学校づくり審議会資料」より引用

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

(2) 生徒数・学級数（通常の学級）

学校名	通常の学級 生徒数（学級数）		
	2023年度	2027年度	2030年度
薬師中学校	305(9)	491(15)	427(13)
金井中学校	444(13)		

※2023年度は5月時点の生徒数と学級数です。

※2027年度と2030年度の人数は新学区での人数を推計しています。

※2027年度と2030年度は2020年度の計画策定時点に推計に実施した推計における生徒数と学級数です。

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

(2) 生徒数・学級数（特別支援学級）

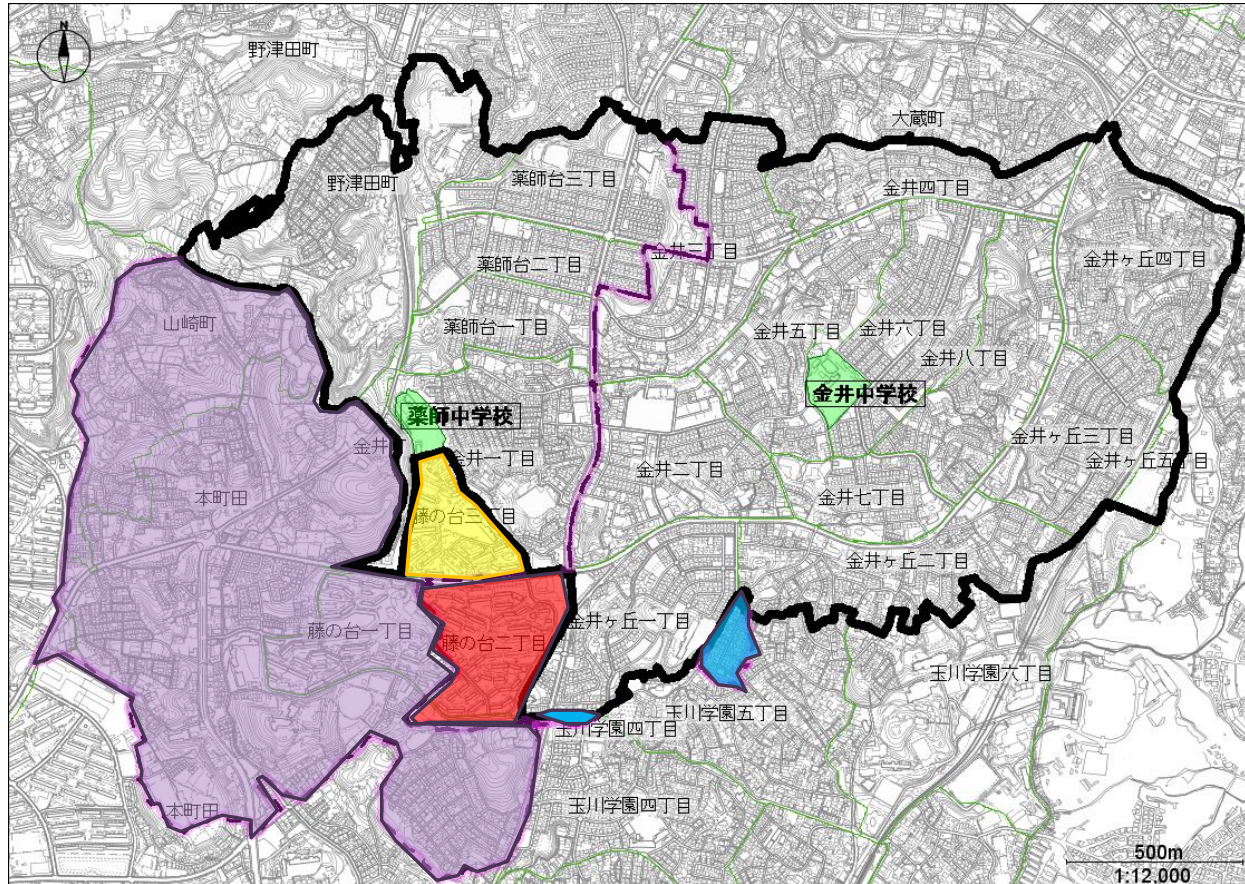
学校名	特別支援学級	生徒数(学級数)	2030年度
		2023年度	
薬師中学校	知的障がい学級	22(3)	「知的障がい」・「自閉症・情緒障がい」の特別支援学級を設置
金井中学校	なし	0	

※2023年度現在、薬師中学校に「知的障がい特別支援学級」が設置されています。

※2030年度には、「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」を設置します。

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

(3) 薬師・金井地区新しい通学区域



現在の中学校	町区域	変更年度	新しい通学先	地図
薬師中学校	金井町	2027年度	薬師・金井地区統合中学校	無色
	金井一丁目			
	薬師台一丁目～三丁目			
	野津田町（一部）			
薬師中学校	山崎町	2026年度	山崎中学校	紫色
	本町田	2026年度	町田第三中学校	
	藤の台一丁目	2026年度		
	藤の台三丁目	2027年度 2031年度	薬師・金井地区統合中学校 本町田・山崎地区統合中学校	黄色
金井中学校	金井二丁目～八丁目	2027年度	薬師・金井地区統合中学校	無色
	金井ヶ丘一丁目～五丁目			
	藤の台二丁目	2026年度	町田第三中学校	赤色
	玉川学園四丁目・五丁目	2036年度	南大谷中学校	水色

3. 薬師・金井地区における統合新設中学校について

(4) 統合・新校舎建設のスケジュール（薬師・金井地区）

中学校	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
金井中	既存校舎				統合	新校舎建設			☆新校舎使用
薬師中	既存校舎					既存校舎で授業			引越
2012年度生まれ	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
2013年度生まれ	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
2014年度生まれ	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2
2015年度生まれ	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1
2016年度生まれ	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
2017年度生まれ	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2

2027年度： 薬師中と金井中が統合（薬師中の位置で新しい中学校としてスタート）

2027年度～2029年度： 金井中の現校舎を取壊し、新校舎の建設

2030年度： 新校舎が完成し、引越し。新校舎で授業が開始

4. 事前にいただいたご質問について

(1)通学について

【現状】

徒歩での通学を基本としています。

家から学校までの道のりで2.0kmで30分程度を超える場合、公共交通機関を利用して通学する生徒には通学費の補助を行っています。

【統合に向けて】

通学の基準を超える生徒がいる地域について、当該地域での公共交通機関の活用等の通学負担の軽減については、今後発足する「新たな学校づくり基本計画検討会」において、検討・議論を進めて参ります。

4. 事前にいただいたご質問について

(2)成績について

【現状】

町田市の中学校では、絶対評価で成績をつけています。
薬師中も金井中も3学期制を採用しており、テスト期間も同時期に行っています。

【統合に向けて】

統合前から両校で指導計画や評価の規準等を可能な限り合わせていけるようにします。

4. 事前にいただいたご質問について

(3) 教員配置について

【現状】

教員の人事は、教員の在校年数や経験などをもとに、町田市教育委員会が異動計画案を作成し、教員の任命権者である東京都教育委員会へ提出します。東京都教育委員会は、各自治体から提出された異動計画案を基に、教員の異動を検討・決定します。

【統合に向けて】

町田市教育委員会からは、統合直後の生徒の環境が急激に変わらないよう、統合元となる学校の教員をバランスよく配置できるような配慮を東京都教育委員会に要望します。

4. 事前にいただいたご質問について

(4)標準服について

【現状】

薬師中・金井中ともに、制服や体操服等の学校指定品は、各学校によって違っていています。

【統合に向けて】

学校統合に向け、新しい標準服を制作します。

生徒や保護者等からご意見を伺い、検討します。

※統合年度に第2学年、第3学年になる生徒については、標準服を含む現在の学校指定品の使用が可能です。

※兄弟やご親友等から譲り受ける「おさがり」の扱いやいつから標準服が統一するかなどについても検討します。

4. 事前にいただいたご質問について

(5)部活動について

	薬師中	金井中		薬師中	金井中
サッカー部	○	○	陸上部	○	○
軟式野球部	○	○	ソフトテニス部	○	○
バスケットボール部	○	○	吹奏楽部	○	○
バドミントン部	○ (女子)	○	美術部	○	○
バレーボール部	○ (女子)	×	英語部	○	×
陸上競技部	○	○	交流部	○	×
			家庭部	×	○
			科学部	×	○

【統合に向けて】

両校の部活動が円滑に統合できるように、事前交流等も含めて進めていきます。

4. 事前にいただいたご質問について

(6)統合時の学校施設について

【現状】

新校舎の建設期間中は薬師中学校の校舎を仮校舎として使用します。
薬師中学校は18学級に対応できる普通教室と特別教室があり、特別支援学級の教室もあります。

【統合に向けて】

現在の教室の使い方などを踏まえ、普通教室や少人数学級に対応できる教室への転用工事を行います。

学校と協議し、統合前年度に工事を進められるよう調整してまいります。

4. 事前にいただいたご質問について

(7)異なる学校行事について

【現状】

薬師中・金井中で運動会の開催時期やその他の学校行事など、各学校で特色ある教育を行っています。

【統合に向けて】

統合後に円滑に学校生活を送ることができるよう、事前に両校で年間の予定や学校行事を合わせていきます。

4. 事前にいただいたご質問について

(8) 給食について

【現状】

現在は、各ご家庭の判断で、ランチボックス形式の給食を注文するか、お弁当を持参するかを選択することができます。

【統合に向けて】

2025年1月から、薬師中・金井中の給食は金井スポーツ広場に完成する給食センターより「全員給食・食缶形式」で提供します。2027年度に統合した後も、引き続き給食センターより運搬し、中学生への給食を提供します。

※食缶形式とは、おかずや汁を保温性の高い「食缶」に入れて各学校に給食を届ける方式です。



現在のランチボックス給食



(参考) 小学校の食缶形式給食

4. 事前にいただいたご質問について

(9) 学校跡地について

- ① 地域にとって必要な機能は、その地域における統合新設校や周辺施設等へ引き継いでいきます。
- ② 校舎などの建物は原則として取り壊します。
- ③ 「市有財産の戦略的活用に関する基本方針」に基づき、民間事業者等への貸付・売却なども含めた、効果的な利活用を図ります。

跡地6年前 (2024年度)	跡地5年前 (2025年度)	跡地4年前 (2026年度)	跡地3年前 (2027年度)	跡地2年前 (2028年度)	跡地1年前 (2029年度)	(2030年度以降)
【跡地活用の方向性検討】 市民アンケート、地域との意見交換など			【活用の大まかな方向性決定】	【校舎解体・跡地活用の詳細検討（・決定）】	校舎解体・跡地活用	

【今までの学校跡地の活用状況】

- ◆ 忠生第四小学校跡地：教育センターとして活用
- ◆ 忠生第五小学校跡地：都立町田の丘学園として貸付、市立山崎保育園として活用
- ◆ 緑ヶ丘小学校跡地：町田消防署の移転先として貸付、緑ヶ丘グラウンドとして活用
- ◆ 本町田中学校・本町田西小学校跡地：桜美林大学のキャンパス用地として貸付
- ◆ 忠生第六小学校跡地：中学校給食センター、（仮称）町田木曾山崎パラアリーナ建設用地として活用

4. 事前にいただいたご質問について

(10)防災拠点の考え方について

【現状】

薬師中学校は地震の際に、地域にお住まいの方の避難施設として使用されており、金井中学校は地震及び風水害の際に、地域にお住まいの方の避難施設として使用されています。

【統合に向けて】

現在、学校が担っている避難施設機能について、基本的には、その地域における統合新設校や周辺の施設等に引き継ぐことを考えています。

また、それらで引き継ぐことが難しい場合は、学校跡地も含め、その地域にとって最適な配置となるよう検討して参ります。

新たな学校づくり推進計画の点検について

2024年度に児童・生徒数の将来推計や施設整備費の高騰など、
「新たな学校づくり推進計画」策定以降に起きた環境変化を踏まえ、
学校統合や通学区域変更の時期などについて点検します。

変更となる場合は、町田市ホームページなどでお伝えさせていただきます。

2021年5月
策定



5 質疑応答
